

事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）				当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部		課・室	信州の木活用課			
		実施期間	S33～		E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）									
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現								
	県民の豊かさ全国トップレベルを維持								
	様々な人の労働参加を全国トップに								
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり				2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保								





## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	○県内の森林・林業を支える教育・試験研究機関は少なく、充実を図る必要がある ○また、森林・林業を普及・啓発し、持続的な森林育成や発展を目指す必要がある
	【目指す姿】
	○森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す ○林業大学校卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の持続的な確保 ○林業総合センターの試験・研究の促進
【実施内容】	
	林業大学校や林業総合センターによる知識の教示や試験研究、普及指導員等による地域の林業事業者等への指導など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]								事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	前年度繰越		0	0	
1	林業大学校卒業生で就業した者の林業・木材産業関係分野への就業率	78.0%	70.0%	↓	90.0%	↑	80.0%	達成	現計予算	91,325	600,473
2	林業総合センターの研究成果の発表件数	124件	95件	↓	72件	↓	80件	未達成	合計(A)	91,325	600,473
3	体験学習の森の講座定員の充足率	92.0%	85.6%	↓	89.0%	↑	85.0%	達成	うち一般財源	67,332	563,005
4									決算額(B)	86,944	416,916
									職員数(人)	90.41	86.91

成果指標設定理由	①林業大学校の学生が県内の森林・林業の担い手として、その知識・技術を林業及び木材産業分野で活かせるよう成果指標に設定 ②林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすため成果指標に設定 ③県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るため成果指標に設定
----------	---

達成状況の分析	①4年制大学（林学）への進学者が減り、林業・木材産業関係分野に就職した者が増加したため ②新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、学会等の中止や規模縮小があったため研究発表数が減少した ③他のイベントの多くが中止となる中、感染予防対策をとりながら野外で実施した講座へ多数の参加者があった
---------	---

主な取組	○林業大学校における次代の担い手の育成 ・適正な学校運営 ・学生が安心して勉学に専念できる環境を整備するため、老朽化した学生寮の改築に着手		
	○林業総合センターの試験研究・開発の促進 ・新たな試験研究装置を活用した高品質・高強度な大径カラマツの新製品の開発 ・マツタケ菌感染苗木によるマツタケ人工栽培の試験・開発 ・成長に優れたカラマツ等コンテナ苗木等の開発 等		

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	林業大学校においては、多様化する森林・林業への要請に応えられる質の高い人材の育成を図るとともに、林業や木材産業を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。  長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要である。	安全教育の強化やICT技術を活用したスマート林業など、これからの林業に必要な特徴的なカリキュラムを実施するとともに、学生が安心して勉学に励むことができる環境を整備する。  全国的にみても先進的な試験研究・開発を継続し、木材の新製品やマツタケの人工栽培方法を開発する。

事業番号	10 02 01	細事業一覧（令和2年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		86,944 千円	416,916 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	林業大学校費	直接	林業の担い手確保のため、学生40人に対して林業の専門的知識・技術を体系的に習得させる。 【林業大学校卒業生20名（うち林業分野への就業者18名 90%）】	
2	林業大学校教育環境整備事業	直接	林業大学校の学生が安心して知識・技術の習得に取り組むことができる環境を整備する。 【3/29に建築工事契約】	
3	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、研修会等を開催する。 【林業普及指導員研修 7回】	
4	林業総合センター管理費	直接	林業総合センター施設の管理運営	
5	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る課題解決のために、技術開発及び試験研究を行う 【課題・研究数：33】	
6	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	各種講座の開催及び施設の管理運営 【森林教室15回】 【森の勉強会 中止】 【林業体験講座9回】	